

令和5年度 第2回学校運営協議会（議事録）

1 日 時 令和5年9月6日（水） 午後2時から4時

2 場 所 藤枝西高等学校 会議室

3 参加者

会 長	鈴木 尚夫	元公立中学校長
副会長	高橋 等	静岡産業大学教授
委 員	中西 康人	西益津地区支部長
委 員	田形 聡子	田形内科医院 臨床心理士
委 員	伊東 邦雄	「日知塾プロジェクト」コーディネータ
委 員	小野 朋代	「ZUMBA プロジェクト」コーディネータ

校長（竹村）、副校長（野澤）、教頭（秋月）、事務長（岩本）、総務・図書課長（山本）、
教務主任（大村）、生徒指導主事（杉本）、進路指導主事（赤池）

記録：総務・図書課員（望月）

4 内 容

(1) 校内見学 … 生徒授業風景等

(2) 校長挨拶

昨日推薦会議を行った。時代とともに大学入試の試験形態も変わってきており、変化に合った対応が求められている。また、教職員の人数減に伴い、これまでの事業を継続することが困難になってきている。今学期から管理当番の体制を変更しており、前例踏襲ではなく改善できるところはしていきたい。運営協議会の皆様には、本校の現状を見て御意見をいただきたい。

(3) 学校運営の進捗状況について

ア 総務・図書課

1学期はコミュニティ・スクールを3事業27回実施した。花いっぱいプロジェクトは夏休みにも実施し、雨天でもしおり作りを行い、生徒が地域の方と交流を深めることができた。9月16日の一日体験入学に向けて学校紹介動画を作成し、学校ホームページから試聴できる。9月27日第2回PTA評議員会を書面により開催予定。

イ 教務・情報課

1、2年生は観点別評価で成績を付けている。ミスのないよう丁寧に対応していく。2学期から日課変更を行い、コロナ対応だった昼の清掃から、放課後清掃に変更した。

ウ 生徒・保健課

生徒の基本的な生活習慣を整えることを目標に、表面的ではなく心に響くような指導を心掛ける。交通事故の数は1学期始めと比べて減少しているが、交通ルールやマナーについて苦情の問い合わせがあり、事故を未然に防ぐ指導もしていきたい。校外でのボランティア活動は、1年17名、2年4名、3年15名が参加した。これからも積極的な参加を呼び掛けていきたい。

エ 進路課

進路意識を啓発すること、学力を伸ばすことを目標とし、年間計画を立てている。2学期はLHRの時間を活用して、1年生は社会人講話、2年生は学部学科調べ、3年生は入試制度のしくみ理解や志望理由書作成などを行う予定。保護者の方に本校の進路指導について知ってもらうため、今

年度から進路だよりをＣラーニングで配信し、情報提供している。

オ コミュニティ・スクール３事業に係るアンケート結果（副校長）

令和元年度から５年目を迎えたコミュニティ・スクール事業について、教職員の減少に伴い現行のまま継続していくのは難しいとの意見が出ており、事業の在り方・目的について改めて考えるため、教職員にアンケートを取った。ZUMBAプロジェクトと日知塾プロジェクトについては、教職員の勤務時間外の活動であること、参加生徒の帰宅時間が遅くなることに懸念を感じている職員が多い。日知塾プロジェクトについては、他地区へ活動を広げるのはどうかという前向きな意見も出た。花いっぱいプロジェクトについては特定の教職員に負担がかかっており、業務分担を見直す必要があるという意見が多く出た。これらについて、運営協議会の皆様から御意見をいただきたい。

(4) 協議・意見交換

ア 校内見学の感想、学校運営全般について

<田形委員> 明るい授業。制服の着こなしが素敵。髪型も自由で、清潔感がある。

<小野委員> 寝ることもなくしっかり真面目に授業を受けている生徒が多く感心した。笑顔で挨拶してくれる生徒が多く、素晴らしいと感じた。

<伊東委員> 視線が課題に集中している。受け身の授業だけではなく、相談しながら受ける授業スタイルは自分自身の思考が整理されるため良い。不登校の生徒の状況について。（教務課より回答）

<高橋委員> 授業を受けている様子が明るくて良い。観点別評価についてどのように評価基準を設けているのか。（教務課より回答）

<中西委員> 真面目な生徒が多い印象。しっかり授業を受けている。

イ コミュニティ・スクール３事業について

<田形委員> 教職員の負担はよく分かる。事業を廃止する方向で考えているのか。（副校長 コミュニティ・スクールとしては存続が大前提。未永く続けていくためにはどうしていくべきか。）外部との連携は考えているか。（副校長 現在のコーディネーターのように、外部化も視野に入れている。）

<中西委員> 自治会としては、外部講師を回覧板等で呼び掛けることはできる。ただしどれくらい参加があるかは不明。

<小野委員> ZUMBAによって得られる効果について教職員は疑問を感じており、現場での感覚とは異なることが分かった。業務が教職員の負担になっていることは十分に感じており、それによって事業の見直しがなされることは致し方ない。特色のある学校にするために協力できることがあれば言ってほしい。

<伊東委員> 日知塾の活動を通して、生徒やPTAの保護者と関わりが持てたことは良かった。ただし、小中学生の参加が少ないのが残念。提案としては、夏休みの宿題をみる場を作れないか。それを足掛かりに、夜の活動も参加者が増えるのでは。懸念点としては、日中は交流センターの部屋に空きが少ないことがあり、学校の空き教室等を使えないか。また、自分の地域の学童へ出前で行くのはどうか。

<中西委員> 西益津自治会では３世代交流のイベントなどを計画しており、西高生に手伝いに来てもらえないか。

<鈴木委員長> 活発な意見交換がなされ、大変有意義な協議会となった。今後のコミュニティ・スクールのあり方については、現状を踏まえた上で更に検討を進めていきたい。

コミュニティ・スクール3事業に係る職員アンケート調査結果について

1 アンケート調査の概要

- (1) 実施日 令和5年8月1日（火）から8月22日（火）まで
 (2) 実施対象 正規教員29名（回答21名）

2 アンケート内容及び結果

- (1) コミュニティ・スクール「ZUMBA」の次年度以降の実施・運営について、どう考えますか。

回答

番号	回答内容	グラフ	割合	回答数
1	1 現状のままでよい		4.8%	1名
2	2 改善すべきである		95.2%	20名

→「地域とともに成長する学校」というコンセプトに対する効果に疑問を感じており、事業が負担であると捉えている教員が多いことが分かった。

- (2) コミュニティ・スクール「日知塾」の次年度以降の実施・運営について、どう考えますか。

回答

番号	回答内容	グラフ	割合	回答数
1	1 現状のままでよい		14.3%	3名
2	2 改善すべきである		85.7%	18名

→「地域とともに成長する学校」というコンセプトに対する効果を十分に感じている教員が多くいる一方で、実施時間や西益津地区以外への広がりが少ないことが課題であると捉えている教員がいることが分かった。

- (3) コミュニティ・スクール「花いっぱい」の次年度以降の実施・運営について、どう考えますか。

回答

番号	回答内容	グラフ	割合	回答数
1	1 現状のままでよい		23.8%	5名
2	2 改善すべきである		76.2%	16名

→「地域とともに成長する学校」というコンセプトに対する効果を十分に感じている教員が多くいる一方で、生徒や教員全体に上手く活動を広げることができたらよいと感じている教員が多いことが分かった。